

2022年10月26日
専門職学位課程1年 山本萌未

スウェーデンの登録ベースのコホート研究による視力と自転車事故のリスクとの関連

本抄読会では、視力と自転車事故のリスクとの関連について述べられた論文を紹介する。課題研究のテーマに関しては、健診データの項目を考慮しながら今後決定する予定である。

【論文概要】

近年、自転車の利用が推進されたことから日本やドイツ、デンマークでは11~14%、オランダでは28%が日々の移動に自転車を使用していると推定されているが、視力と自転車事故との関連について調査した研究は少ない。そこで、スウェーデンの全国徴兵登録をもとに691,402人の男性を対象としたコホート研究をおこなった。平均年齢18歳から45歳までの追跡調査の中で、視力が0.9~0.6の男性は矯正なしで視力が1.0以上ある男性に比べて自転車事故によって負傷する確率が44%高いということが判明した。

【参考文献】

Hiyoshi A., et al. Visual Acuity and the Risk of Cycling Injuries. *Epidemiology*. 2022;33:246-253.